

JAいしのまき女性部鳴瀬地区

代表者 石森 さと子
 住所 宮城県東松島市小野字新宮前15-1
 電話番号 0225-87-2006
 活動内容 食農体験、調理実習



食育活動をはじめたきっかけ

地域農業や食の大切さを 伝えたい

「食」を支える根本は「農業」であり、生きる上で大切な「食べること」は農業や地域、自然と強い繋がりを持っています。

東松島市で生産された農産物の魅力を伝え、心豊かに生活してほしいという思いから、地場産農産物を活用した調理実習を始めました。



11年前からは、地域の特産品である「そば」の味を知り、広めるとともに、地域農業や食の大切さを学んでもらうため、そば打ち体験教室も開催しています。

また、東日本大震災を経験したことで、地域との関わりやお互いの支え合いを大切にしながら、復興に向け地域一体となって、食農体験などを通じた食育活動に取り組んでいます。



JAいしのまき女性部 鳴瀬地区 プロフィール

JAをよりどころとして、食や農、くらしに関心のある女性が集まって活動する組織です。

そば打ち体験をはじめとした食農教育や地産地消に関わる活動の他、助け合い活動（高齢者福祉）、環境保全活動などにも取り組んでいます。



そば打ちの技術は、そば粉の製粉業者から

そば打ち指導を受けたJAいしのまきの職員によって、女性部員に伝

授されました。

毎月、そば打ちの練習を重ね技術を磨き、楽しみながら、やりがいを感じられるような活動を目指しています。



食農体験・調理実習

出来あがった状態でしかそばを見たことがない小学校の子どもたちに、毎年、鳴瀬地区の特産であるそばの栽培からそば打ち、調理、食べるまでの体験を通して、作物を育てることの大切さと喜びを伝えていきます。

太巻き調理実習も併せて行っており、食材のお米ときゅうり、のりは地元産を使用しています。

また、地域の皆さんに対してもそば打ち体験や地元の食材を使った料理教室を開催し、地産地消を広める取組も行っています。



防災料理の普及

東日本大震災の教訓を生かして、非常時でも食事が摂れるように、地域の皆さんを対象にした防災料理の調理実習に取り組んでいます。少量の水で衛生的に調理できるポリ袋料理は、いざという時のために、ぜひ覚えておいてほしい調理方法です。



これからの食育活動について



<石森さと子さん>

地域全体が元気になる 取組みをめざして

東松島市は東日本大地震で被災した家も多く、その影響は今もまだ残っています。部員をはじめ、子どもたち、地域住民みんなが関わりを持って一緒に頑張ろうという思いで活動しています。これからも、学校、地域、JA、地元企業などと連携しながら、農業や漁業の体験を通して、地域全体が元気になれるような取組を続けていきたいと思っています。



若い世代に伝えたい

様々な体験を通して地域の人との交流や会話が生まれ、更には家庭で親子の会話もはずみ、親になった子どもたちが「俺も昔やったよ」という話ができたらいいなと思っています。子どもたちが元気を取り戻し、学校に行くのが楽しみになるような食育活動を目指し、地域の食育を長い目で見て続けていきたいと考えています。

